



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.10
令和3年10月29日
文責：校長 福島

一通の手紙



校長室には時々かわいいお客さんがやってきます。

今週の休み時間、ドアをノックする音がするので開けてみると、3年生が1人立っていました。「校長先生にお手紙を書いたので持ってきました。」突然のことで驚きましたがうれしかったです。さっそく読ませてもらいました。

前期お世話になったことへのお礼と後期の目標が、丁寧な心のもった字で書かれてあり、かわいいイラストが添えられてありました。心が温くなりました。

担任に話すと、国語で手紙の書き方を学習したことがあったそうです。この日は、担任にもうれしそうに「校長先生の所に行ってきます。」と言って教室を出て行ったそうです。

私は返事を書き、休み時間にこの子を校長室に呼びました。「お手紙ありがとうございました。とってもうれしかったです。返事を書いたので受け取ってくださいね。」うれしそうに受け取ってくれました。どうして手紙を書いたのか尋ねてみました。しばらく考えていましたが、お礼が言いたかったということでした。ますますうれしくなりました。

本年度の重点目標は「潤いのある学校・家庭・地域づくり」です。

写真は、校長室の観葉植物です。2年前のワイワイ祭りにつばさショップで買いました。枝が伸びすぎたのでバッサリと根本近くから切り、土を潤して待っていました。それから1ヶ月、新しい芽を出しここまで生長しました。潤いがあれば植物は自分の力で芽を出し、枝葉を茂らせます。子供も自分で成長する力をもっています。潤った環境をつくれれば自分の力で考え行動します。「主体的な子供を育てたい」この思いを重点目標に込めています。

手紙を書いた子の事例は、潤いのある環境の中で育つべき一つの姿だととらえます。この子が在籍する教室には笑顔と安心と対話があふれています。この子と話す中でおじいちゃんやおばあちゃんの話も出てきました。きっとあたたかい家庭なのでしょう。愛情をいっぱい注がれ、満たされているからこそ、自信をもって自分の思いを行動で表現できるのだと思います。

観葉植物のように、子供も毎日成長しています。その成長を感じるときは幸せです。